



筑波山地域Cトレッキング 第1ステージ

観察資料

【道祖神峠 ルートマップ】



【ジオストップ】

- **道祖神峠** 「どうろくしんとうげ」と読むそうです。このあたりの地質は斑レイ岩になっています。これまでの道中との地形の違いに注意。
- **すずらん群生地** 5月上旬の頃になると、すずらんが小さな花を咲かせます。ふだんよく目にするすずらんは葉の上に花があるドイツスズランという輸入品種ですが、この群生地に咲くすずらんは日本古来の自生のすずらんです。



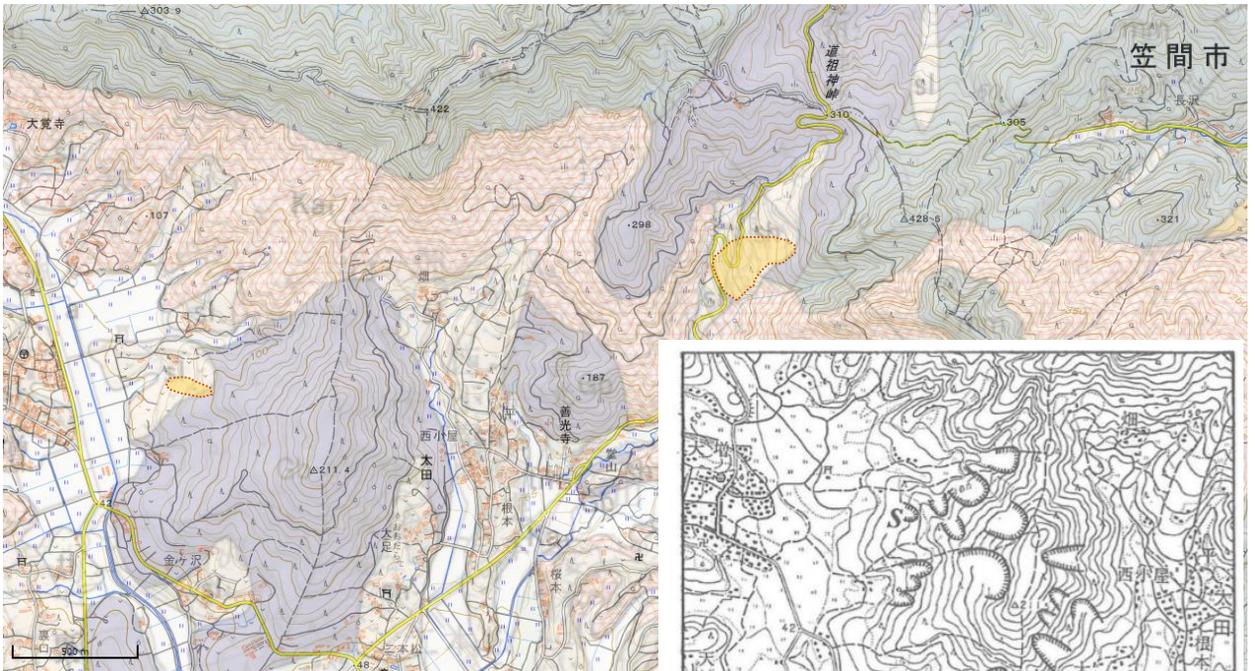
筑波山地域Cトレッキング 第1ステージ

観察資料

<資料> はんれい岩地の地すべり

道祖神峠付近に分布する斑レイ岩は、筑波山頂付近に分布する斑レイ岩に比べ風化が激しく、峠の南方の東山付近では地すべりによる土砂災害警戒区域に指定されている。

また、国土地理院による[日本の典型地形](#)でも「東山地すべり」としてリスト化されている。

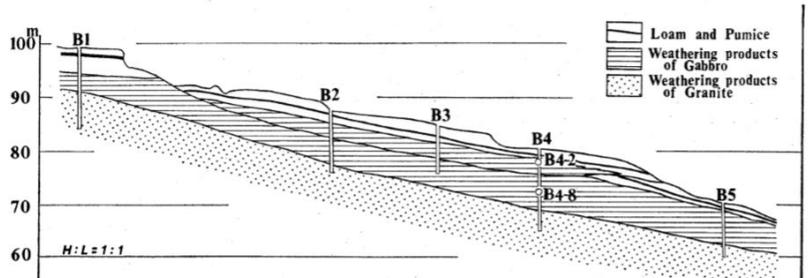


松倉ほか(1979) 柿岡盆地北部,東山におけるハンレイ岩の風化と地すべり粘土の生成. 地理学評論 52-1

第2図 東山周辺の地形図および地すべりの分布
Sの印は1976年発生地のすべりを示す。
国土地理院発行 1/2.5万地形図「加波山」の一部であり、
この中に地すべり地を書き入れたものである。

ハンレイ岩の風化プロセスとして、角閃石から緑泥石、カオリナイトへの変質と、斜長石からカオリナイト、ハロイサイト、束沸石への変質が認められた。

しかも、このハンレイ岩の風化層中に存在する膨潤性緑泥石が地すべりの素因になっていることが明らかとなった。



第4図 地すべりの地質断面およびボーリングコアサンプルの位置
B1～B5 はボーリングの位置を示し、B4-2とB4-8 はボーリングコアのサンプリング位置を示す。
応用地質調査事務所(1977)の地質断面図をもとに一部を改変した。